

マナー MANNER

●先生には敬語を使おう

あさ あいさつ かえ あいさつ しつもん れいぎただ
朝の挨拶、帰りの挨拶、質問するときなどには、礼儀正しく
けいご つか
敬語を使おう。



あさ
朝は「おはようございます！」

かえ
帰りは「さようなら」



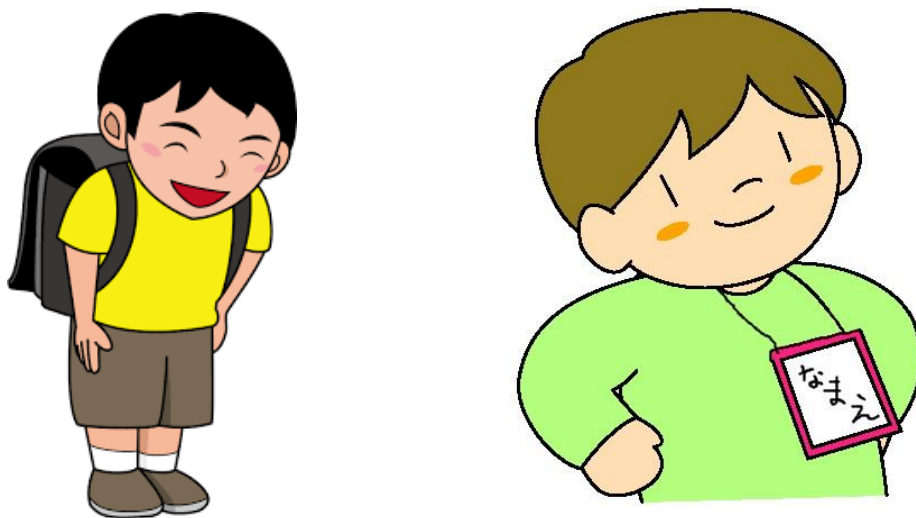
せんせい
「先生、おしえてください」

「わかりました」

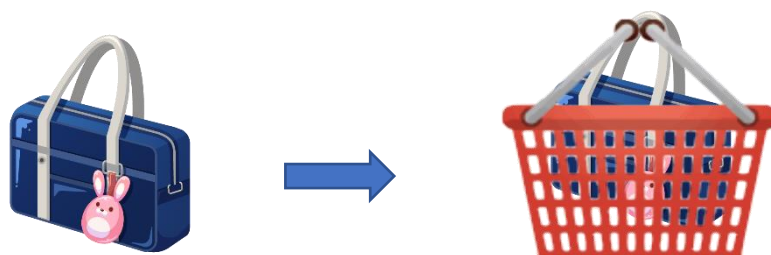
れいぎただ けいご つか
礼儀正しく敬語を使おう

あさ きょうしつ き 朝、教室に来たら

- ^{せんせい}先生にあいさつ、^{じぶん}自分の^{なふだ}名札を取って^{くび}首にかける



- ^{にもつ}荷物をかごに入れる。教室を移動するときには、かごの^{なか}中に^{にもつ}荷物を入れて、^{いっしょ}一緒に^も持っていくこと。かごは^{いえ}家に^{かえ}帰るときに^{わす}忘れず^{かえ}返しましょう。



たてもの たいせつ 建物を大切にしよう

● この建物の全ては、日本の大切な文化財です。

紫明会館は昭和7年(1932年)に完成し、平成27年に「国の登録有形文化財」に指定されました。これからは、京都にある古い神社やお寺と同じように、国の宝として大切に守っていく責任があります。ドアの1枚、飾りの1つまでもが、87年前に作られたまま、大切に使用されています。そのため、ほとんどの設備は壊れやすく、強く扱うと簡単に壊れます。いったん壊れた場合は修理や交換に多くのお金がかかります。

× 「ドアや窓・壁などに強い力 をかける」

→ 割れる・崩れる・ヒビが入るなど壊れてしまいます



× 「床や壁に水分をつける」

→ しみ込んだ水分は二度と取ることができません。

床や壁を交換することになります。

× 「畳に色を付ける、食べ物・飲み物を落とす」

→ 汚れが元通りに取れない場合は、畳を交換します。

わざと壊した、汚したので無くても、すぐ先生に

言いましょう。自分がやったのではなくても、見つけた人が先生に言って

これ以上壊れたり汚れが広がらないように協力しましょう。



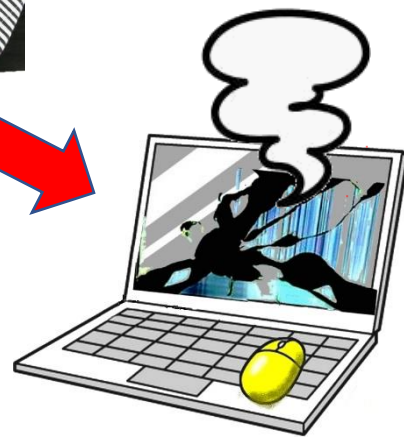
どうぐ たいせつ 道具を大切にしよう

● 借りる時、返す時



元の位置に

教室で使う道具、椅子や机、パソコン、テレビ、プロジェクタ、ペン、筆、はさみなど、自分のことだけでなく、仲間のことを考えて借りましょう。返す時は元の場所にきれいにそろえて。



<パソコン>

パソコンは特に壊れやすい精密機械です。

ノート型パソコンのフタを閉めるときに、

キーボードの上にマウスなど何も置いて

いないか確認してからゆっくり閉じましょう。ものがはさまったま

ま閉じると、画面が割れてパソコンは使用できなくなります。

また、水分に非常に弱く、キーボードに水が

かかると、パソコン内部で電気が暴走し、

一発で壊れます。パソコンの近くには、絶対

に水分を近づけないこと。



なかま やさ 仲間に優しくしよう。

● 言葉の暴力、力の暴力は絶対禁止

相手の嫌なことを言う、たたく・蹴る、持ち物を勝手に使ったり隠したりすることは、とても残酷で、卑怯で、格好悪いことです。ここでは全員が大切な仲間です。自分と自分の家族と同じように、仲間にも親切にしましょう。

どんな理由でも、なぐる・たたく・押すは禁止



「あいさつがわりにたたいただけ」

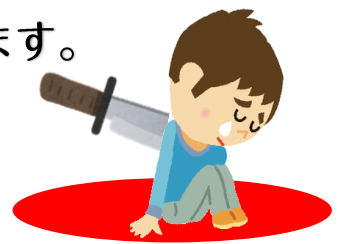
「相手が先にいやなことを言ったから」

「相手にたたかれたから、仕返しした」

↑どれも、たたいて良い理由になりません

「言葉」も同じです。相手が嫌な気持ちになる「へたくそ」「あほ・ばか」「おそい」「くさい」「あっちいけ」「くるな」・・・

これらは「言葉のナイフ」相手を深く傷つけてしまいます。



ひと もの と かく かえ
人の物を取る・隠す・返さない

相手が「いいよ」と言っていないのに、勝手にものをとったり、隠したり、借りてすぐに返さない。同じことを自分がされたらどう思いますか？



ひと かな
人が悲しくなることはしない

じゅぎょうちゅう 授業中のきまり

- おやつを^た食べたり、^の飲み物^のを飲まない



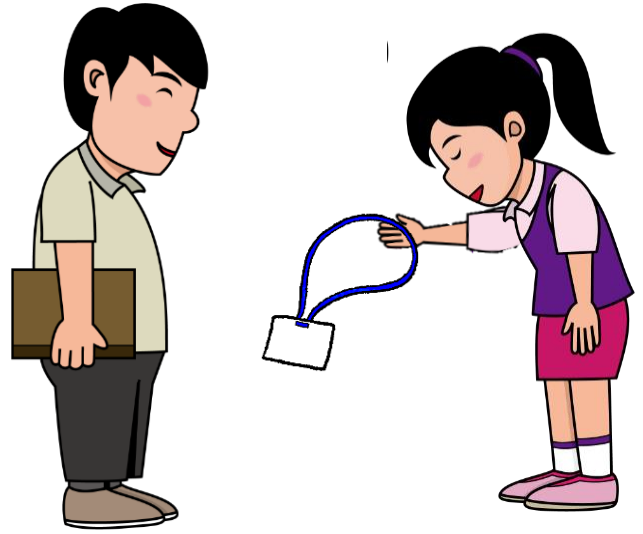
おやつを^た食べるのはお^{ひる}昼^{はん}ご飯のあとや、^{ひる}昼からの^{やす}休み^{じかん}時間
に。^の飲み物^のは^{やす}休み^{じかん}時間に。

- ^{かんけい}関係のないことを、^こ子ども^{どうし}同士で^{はな}話さない
- ^{せんせい}先生に^{しつもん}質問するときには、^{こえ}声を出さず^だに^て手を^あ挙げる
- ^{かって}勝手に^{ある}歩き^{まわ}回らない、^{きょうしつ}教室^でから出ない
- ^{くび}かならず^{なふだ}首から^{かえ}名札^{かえ}をつけ、^{かえ}帰るときに^{かえ}返す
- ^{にもつ}荷物は^いかごに^{かえ}入れ、^{かえ}帰るときに^{じぶん}自分で^{かえ}返す
- ^{じゅぎょう}授業が^お終わったら、^{じぶん}自分が^{つか}使った^{つくえ}机^{うえ}の上は^{うえ}きれいにし
て、^で出た^{かたづ}ごみを自分で^{かたづ}片付ける

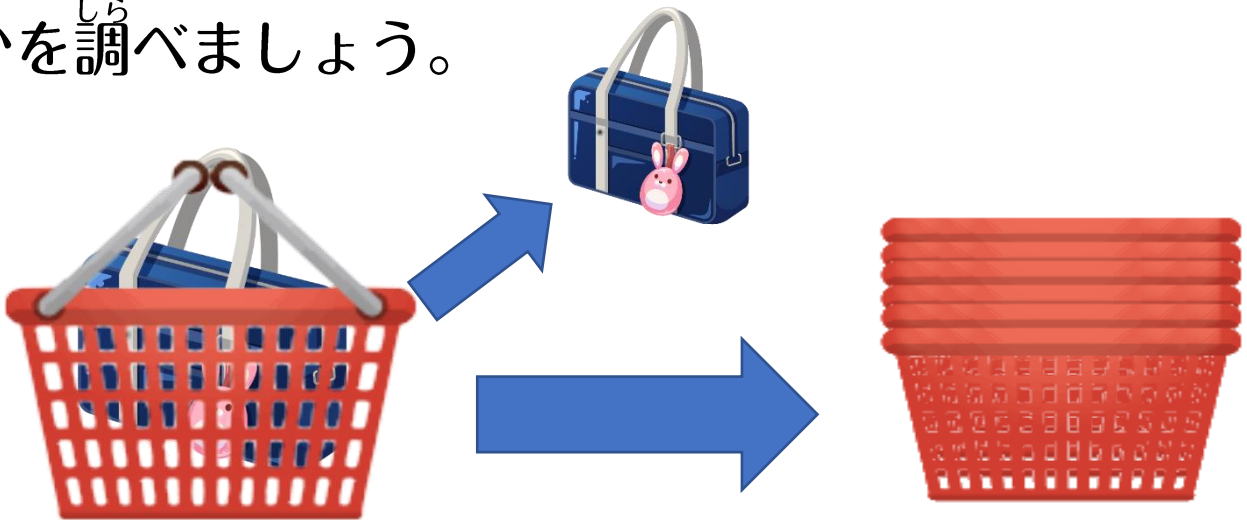


かえ 帰るとき

- ^{せんせい}先生にあいさつして、
^{じぶん}自分の^{なふだ}名札を^{せんせい}先生に^{わた}渡す



- ^か借りていたかごを^{かえ}返します。かごの^{なか}中に^{わす}忘れ^{もの}物が^な無いかを^{しら}調べましょう。



- ^{むか}お迎えを待つ^ま間、^{あいだ}危険^{きけん}ですので^{そと}外で^ま待ってはいけません。

^{しめいかい}紫明会館の^{かい}1階にある^{じどうはんばいき}自動販売機の^{まえ}前で^ま待ってください。



やってはいけないことを してしまったら

この本に書いてある約束が守れなかった子どもは、お父さん・お母さんがお仕事中であっても、すぐに迎えに来てもらって家に帰ってもらいます。そして、その日でスクールは終りにしてもらいます。ケガの治療や建物の修理にかかるお金は、全部お父さん・お母さんに払ってもらいます。

そうならないように、他の子ども・建物・道具もすべて、自分や家族・自分の家や持ち物と同じように、優しい心で大切にしましょう。



この本の約束が守れない人は参加できません。